

「長岡市との意見交換会」を開催 ～水島福祉保健部長に要望書を提出～

10月26日(木)、アオーレ長岡西棟の協働ルームにおいて、長岡市との意見交換会が開催されました。

長岡市からは水島福祉保健部長、山田福祉課長はじめ8人、身障連からは三役及び各協会役員11人、全体では手話通訳者等を入れて22人の出席でした。

冒頭の挨拶では藤田芳雄会長が「この意見交換会も今年で10年の節目となった。ますます充実した会として行きたい。」と話し、水島幸枝部長からも「歴史ある会を大切にしていきたい。」とのお話がありました。

そして出席者の自己紹介に続き、要望書を藤田会長から水島部長に手渡しました。

その後、要望書の項目に沿って意見交換を行いました。身障連側からの要望や意見、疑問などに対して、長岡市からは丁寧な回答をいただきました。

要望書は大きく6項目からなり、意見交換の主な内容は次のとおりです。

1 障害者の福祉政策の充実について

来年度から障害者差別解消法の民間事業者への合理的配慮の義務化が施行されることから、広報紙等を使い市民への周知を図っていく。

また、社会のIT化が進むなか、セルフレジなど特に視覚障害者において対応が困難な場面が多いことなどの実情をお伝えし、スマホ利用の現状などについても意見交換を行いました。なお、長岡市における障害者雇用率は4.36で全国的にも高い水準にあることが報告されました。

2 障害者団体の広報について

市の広報や窓口周知など、引き続き私たちの活動に対するご支援をお願いしました。

3 防災と避難行動について

障害種別による固有の事情や単身時の対応など、出席者から障害者の災害時の実態などを訴えて理解を共有し、国から障害者の個別避難計画策定が令和

水島福祉保健部長に
要望書を手渡す藤田会長



7年度までにとされていることから、担当課を中心に対応を急ぐことになりました。

4 障害者の文化・スポーツ活動について

今夏に完成したミライエ長岡を利用するための駐車料を無料とすることや、視覚障害者向けのユニバーサル文庫のミライエへの移転などを要望しました。

また、スポーツ関係では、障害者に人気のボッチャ練習場の常設についての要望に対しては、「広げるとボッチャコートになるシートがあるので検討を始めたところだ」との前向きな回答がありました。

5 福祉サービスについて

「障害者タクシー利用券」を65歳以上の方に対しては、4級まで給付して欲しいとの要望については、「タクシー券の支給範囲の拡大は福祉施策全体のバランスから困難である」とのことでした。

また、聴覚障害者の手話通訳員の増員については、現状維持でやむを得ないが、アオーレ1階の総合窓口の対応は、担当が迅速に行うとの回答がありました。

また、アオーレとトモシアなどを結ぶタブレット端末を使った手話通訳については、困っている実情をお伝えしました。

6. 障害者の相談体制について

地域包括支援センターの訪問時の障害者に対する相談の現状を伝え、その充実をお願いしました。

以上、本連合会と市との意見交換会は率直な意見を交わす中で、予定時間を大幅に延長し、充実したものとなりました。

なお、今回の要望に対する正式な回答は、12月に文書によっていただくことになっています。

長岡身障連かわら版

【発行人】
長岡市身体障害者団体連合
会長：藤田芳雄
令和5年秋号



60周年を迎えた 「長岡市肢体障害者協会」

会長 近藤 哲雄

長岡市肢体障害者協会は、昭和39年（1964年）、初代会長に高橋酒造（長陵）の高橋社長のもと発足、2代目以降、高野富一氏、山田亀一氏、田中政雄氏、近藤傳一氏、椛澤春雄氏、私、近藤哲雄と7代を数え、今年で60周年を迎えました。

「本会は会員自ら進んでその障害を克服し、社会的経済的地位の向上及び会員相互の親睦を深め、自立更生を図ることを目的とする。」をモットーに日々活動しています。

本会独自の事業として、「文化施設の見学」「日帰り旅行」「忘年会」など楽しい行事を行っています。特に日帰り旅行は、県内のいろいろなところへ出かけ、素晴らしい景色を見て温泉に入るなど人気がある行事です。

さらには、身障連主催事業の「新年合同交流会」「平和の森公園清掃ボランティア」「夏の納涼まつり」などに積極的に参加しています。中でも4年ぶりの納涼まつりは「楽しかったね」など会員の声がありました。

県身連や第五地区主催の「ミュージックふれあい交流会」「スポーツ交流会」への参加や、長岡市社会福祉協議会の「赤い羽根共同募金の活動」、「すこやかともしびまつり」などにも協力しています。

しかし、協会発足以来60年が経過する中で、新規会員獲得の伸び悩み、会員の高齢化や障害の重度

化による施設への入所、それに伴う退会、ご逝去などにより、年々会員が減少しています。

現在の会員は、70人余で最も会員が多かった時期の5分の1程度にまで減少しており、協会の存続が危ぶまれる事態と危機感を募らせています。

長岡市の障害者は1万人を超えており、その数は増え続けていると聞いています。残念ながら会員増加の有効な手立てをとれないもどかしさを感じています。

そんな中でも、久しぶりに今年の身障連納涼まつりを通じて1名の入会がありました。今後も、会の存続・発展を願い、会員全員で長岡市肢体障害者協会を盛り立てて日々活動していきたいと考えています。



今年の文化施設見学（十日町市ブナ林見学後の昼食）

会員☆ボランティアさん募集中

長岡市肢体障害者協会では、肢体障害や内部（内臓）障害の方を対象に会員を募っています。また、イベント時や、パソコンでのチラシや文書作成、会計などのサポートをしてくださるボランティアの方も募集中です。

【連絡先】28-7616（近藤）

第31回ミュージックふれあい交流会

10月3日（火）第31回ミュージックふれあい交流会が新潟ふれあいプラザ（新潟市亀田）で開催されました。長岡市身障連からは、刈羽村で行われた予選会で選出された、藤田会長と栃尾身体障害者福祉協会の稲田イヨさんのお二人が出演者としてエントリーされていました。

長岡から、朝9時に朝日生命ビル前を出発し、途中の黒埼サービスエリアで各自思い思いの昼食をとり、会場に到着しました。

出演者は総勢18人（五泉市身体障害者福祉協会のコーラスを含む）、皆さん



の歌唱力は素晴らしくうまいなあと感心しました。

審査結果は、藤田会長の「愛の讃歌」が審査員長賞に輝きました。応援特別賞は何と言っても糸魚川市が衣装からきらびやかに凝っていて素晴らしく文句なしの受賞でした。応援の皆様もありがとうございました。

（K・K）

トモシア火災避難訓練に参加 ～振り込め詐欺防止漫談で学習～

トモシア火災避難訓練が10月5日に実施され、視障協5人、ろう協2人、肢体協5人、補助者4人、計16人の参加でした。

避難訓練までの防犯安全講座は「笑って学ぼう！振り込め詐欺防止」と題して、前半は漫談師の中野小路たかまろさん（中野隆・県防災アドバイザー）とBSNラジオの楽笑ラジオと一緒にフリーアナウンサー



松井弘恵さんによるトークでしたが、今年の漫才MIに出場した時のエピソードなどとても軽快で面白いお話しでした。



「振り込め詐欺防止」の講話は、中野小路たかまるさんが漫談風にテンポよく、「新潟県の昨年の振り込め詐欺被害件数194件、5億2千万円、実際の数はもっと多い」とのこと

- ①自分は大丈夫と思っている人が危ない。
- ②お金の話が出たら詐欺を疑って。
- ③家族や警察などにまず相談！
皆さんも気をつけてくださいネ！

講話終了後、火災避難訓練の館内放送があり、職員の誘導により、1階フロアに避難しました。

トモシアご利用の皆さん、火災の時は発生場所をよく聞き、避難経路のご確認をお願いします！

設立50周年記念事業 障害者川柳 その9

本連合会では設立50周年記念事業のひとつとして、全国から「障害者川柳」を募集しました。

このコーナーでは寄せられた1,400句の応募作品の中からピックアップして、毎号ご紹介します。

解説 室井 泉柳

ケンカして 手話の上達 気づかされ

のらくら 京都府 女

【解説】 人が「本気」になって物事をやろうとすると、その力は実力以上のものがありますが、特に喧嘩の時は「実力以上」です。

この「気づかされ」たのは障害者？
それとも相手？



駆けっこが出来なくなったら日本一

大阪府 女

【解説】 手足に障害のあるお子さんでしょうか？
かけっただけがすべてではない。
君のすべてが金メダル！



私より よほど世界が 見えている

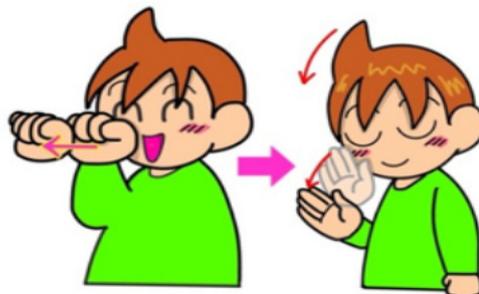
げん 新潟市 男

【解説】 私も子供たちの前で視覚障害者マジックを見せると、「本当に見えないの?」と、よく言われますが、その時に私は「見えないほうがうまくなる」と言っています。

星の王子様も「本当に大切なものは目には見えないものですから…」と言っていますね。

聴覚障害者との心のこもった コミュニケーションのために

⑪ よろしくお願ひします



よろしくお願ひします！

【良い】

【お願ひ】

- ・こぶしを鼻の前に置いて少し前に出す【良い】
- ・「良い」の表現の後に、顔の前に右手を立て前に出しながら頭を下げます。

【編集後記】

この夏の猛暑が終わったと思ったら一気に涼しくなり、体調を崩された方もいらっしゃると思います。

年齢のせいかもしれませんが、私も原因不明の微熱が続いたり、楽しみの晩酌がおいしく感じられなかったりと、体調が思わしくありませんでした。

過ごしやすいはずの秋は短かったような気がしています。

これから寒さが増してきますが、くれぐれも体調に気をつけて、新年合同交流会で元気なお顔を拝見できるといいなと思っています。(K・T)

【事務局連絡先】

※ 投稿及び連絡は下記メールをお願いします。

メール: nagaokasinsyou@yahoo.co.jp

ホームページ:

<http://shinsyoren.web.fc2.com/>



第36回新年合同交流会

主催：長岡市身体障害者団体連合会



新たな年の初めに仲間の皆さんと楽しいひとときを！
～どなたでも歓迎いたします～

福引抽選会もあります

今回はコロナ禍から解放され、制限のない新年交流会になります。

仲間の皆さんとおしゃべりやステージでの催しで楽しいひとときを！

また、おいしいお料理や飲物もお楽しみください。

～新年お楽しみステージ～

さかまきはやと
坂牧颯人さん

新進気鋭の和太鼓奏者
鼓童研修員 山古志出身



坂牧颯人

maki_saka1102

アーティスト
新潟県長岡市旧山古志種芋原出身 職業：太鼓打ち
自分の叩く姿や鳴らす太鼓の音が
"誰かの何かのきっかけ"になりますように
目標は割と身近なすごいおじさんになること

坂牧颯人さんの
インスタグラムより～

●日時：令和6年1月21日（日曜日）午後1時30分～3時30分

●会場：社会福祉センタートモシア 3F 多目的ホール

●参加費：3,000円

●申込み：各協会にお申し込みください

※各協会は12月25日までに事務局へご報告ください



肢体障害者用に福祉バスを用意いたします。

【事務局】

電話：090-2306-6305（土田）

FAX：0258-33-7150

Mail：nagaokasinsyou@yahoo.co.jp